

こんにちは もうり 栄子です



一般質問（6月25日）

暑い中ですがお元気で過ごして
しょうか。
気候変動の影響は年々ひどくな
り今年の夏も気温40度を超える地
域がいくつも出て来ています。熱
中症で亡くなる方もいて地球温暖
化対策は待ったなしですが、日本
政府はCO₂削減に後ろ向きでまっ
たく無責任です。暮らしを守る、
地球を守る、平和を守ることが今
ほど真剣に求められているときは
ありません。6月議会は保育問題
や航空機産業問題、県営住宅問題
について一般質問で県側の考えを
質しました。

保育問題について

毛利 待機児童を生む原因に保育士不足がある。2023年2月議会の山口議員の質問に対し、「少子化・人口減少対策戦略検討会議」において保育士の処遇改善に資する施策についても議論いただきたいと答弁されたが、その後どのような議論、検討がされているのか。

こども若者局長 会計年度任用職員から任期付職員への移行推進など、処遇改善に取り組むとともに市町村間での共同採用などの取組に対し県が支援することとなっている。保育士の給与水準の改善については国に対し公定価格の見直しを要望してきたが、さらに要望していく。

毛利 公立保育園の保育士は6～7割が非正規。会計年度から任期付きに変えるだけでは待遇改善できない。専門職として賃金引上げなどの待遇改善をし、保育士の確保をはかってほしい。

航空機産業について

毛利 政府は航空機産業を「サプライチェーンは民間航空機のみならず防衛産業においても重要な役割を担っており安全保障上も重要」と位置付けている。県が航空機産業の振興に取り組むことで、武器製造の一翼を担うことにならないか危惧されるが見解を伺う。

知事 国では防衛装備品の海外移転を禁止する場合を明確化しているの、一定の歯止めがかかっている状況。県としては、引き続き航空機産業の振興に取り組んでいく。

県営住宅について

毛利 県営住宅は老朽化が進み空き家が増え、夏は草や樹木に覆われ、冬は雪が積もったまま放置されるなど環境面でも景観面でも維持管理体制に支障をきたしているが、県の対応は。

建設部長 原則は自治会を中心に行なってもらっている。県も管理はしているが行き届いてはいないので、他県の状況も把握の上、改善に向け検討していく。

毛利 目的外使用を拡大し、空き家の活用で学生や若者など単身者の入居も可能にし、高齢者の見守りなどもできるようにすれば、コミュニティの維持や環境整備、さらに安心して暮らせる住宅になることも可能ではないか。

建設部長 松本市並柳団地の空き住戸の一部を入居要件に関わらず活用し、多様な世代がつながり支え合う活動拠点整備などに取り組んでおり、今後はこうした成果や課題を検証し他の県営住宅にも横展開できるようにしていく。

警察委員会から

児童虐待、性被害、DV、ストーカー事案などが年々増える中で女性警察官の役割がいっそう求められている。女性警察官を増やし働きやすい職場にして欲しいとの問いに全警察官に占める割合は全国4位の12.7%。交番における専用トイレは86.3%、仮眠室を兼ねた更衣室は76.8%の設置になっていると答弁。男性警察官の育休取得も含め、さらなる拡充と改善を求めました。



花田養護学校（5月17日）



松塩水道用水管理事務所（5月23日）

